

平成25年度 事業別予算概要

事業名	21700	地籍調査事業費	予 算	会計	1	一般会計	総 合 計 画	政策	1	計画的な土地利用をめざして	根 拠 計 画	国土調査事業(地籍調査事業)第6次十箇年計 画	市長 公 約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ◎林業から新たな森林産業への転換を進めます ・地籍調査事業を積極的に実施します
	種 別				款	2		総務費	分野	1		土地利用		
担当課	農政部 林務課	内 線	2235	項	1	総務管理費	基本 策 画	1	住みよい生活環境の実現と地域全体の秩序ある発展を図る	H25実施計画額	100,000 千円			
				目	17	地籍調査費		施策	1			総合的な土地利用		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地籍調査実施地域の森林所有者	どうしたい のか (意図)	一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、その成果を地図(地籍図)及び簿冊(地籍簿)にまとめる。	概 要	事業の実施 手法(手段)	調査の成果(地籍図、地籍簿)を法務局に送付し、登記簿の修正と不動産登記法第14条の地図整備を行うことで、森林整備を円滑に行うと共に境界紛争を防止する。
	対象者数	2,969 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・久々野(柳島Ⅰ) 換算面積0.86km ² 計画面積に占める残面積の割合 8.9%							
	・朝日(青屋Ⅱ) 換算面積0.66km ² 計画面積に占める残面積の割合 7.7%							
	・上宝(蔵柱上Ⅶ) 換算面積0.14km ² 計画面積に占める残面積の割合 10.3%							
成 果 面	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25	
	活動 指 標	地籍調査事業 実施面積	km ²	目標値	6	6	6	4
				実績値	4	2		
				算出根拠等 実績	達成率(%)	67	33	
	活動 指 標	国土調査事業 第6次十箇年計画進捗率	km ²	目標値	64	64	64	64
				実績値	4	6		
				算出根拠等 第6次十箇年計画面積	達成率(%)	6	9	
	成 果 面	算出根拠等		目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
	成 果 面	算出根拠等		目標値				
				実績値				
達成率(%)								
成 果 面	算出根拠等		目標値					
			実績値					
			達成率(%)					
成 果 面	算出根拠等		目標値					
			実績値					
			達成率(%)					
補 足	算出根拠等		目標値					
			実績値					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	高山市総合計画や市長公約において、地籍調査を積極的に推進している。しかし、岐阜県の財政状況が厳しく、地域要望の声に応えられていないことが課題である。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・積極的な予算配当を県へ要望し、地籍調査の計画的推進を図る。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○維持・改善	・森林部を主体として、事業の進捗を図る。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二 次 評 価	○維持・改善	・県に対して財源確保を強く求める必要がある。
	拡大	
	縮小	
廃止検討		

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	35,073	24,304	23,384	134,036
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	12,324	8,540	7,876	45,145
	受益者	地籍調査実施地域の森林所有者	(B)	2,846	2,846	2,969

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	国土調査法に基づく国土調査 ・一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し境界の位置と面積を測量	要 求 の ポ イ ン ト	県における平成22年度から3ヶ年の「緊急財政再建期間」終了に伴う地籍調査面積の増	事 業 実 施 の 課 題	県は、平成24年度までを「緊急財政再建期間」としていた。平成25年度は、地籍調査の予算配当がどの程度戻るかが地籍調査進捗のカギである。
--------------	--	---------------------------------	--	---------------------------------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	23,384	134,036	110,652	62,446	62,446	・県アクションプランの終了に伴い、平成21年度並の面積調査に要する経費を計上 ・財務部査定のとおり	
財 源 内 訳	国庫支出金						
県支出金	15,750	89,490	73,740	45,000	45,000		
その他							
一般財源	7,634	44,546	36,912	17,446	17,446		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	21815	環境共生型住宅建設促進事業	予 算	会計	1	一般会計	総 合 計 画	政策	4	にぎわいのあるまちをめざして	根拠計画		市長 公 約	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ◎林業から新たな森林産業への転換を進めます。 ・高山市の約92%を占める木材資源とこれまで培われてきた林業技術を活用し、地元産出の木材の販路拡大を図るために、 間伐材、林地残材などの製品化や燃料化に対する助成制度の新設や、地元木材利用の促進制度の充実を実施します。
	種 別			款	2	総務費		分野	3	林業	実施計画事業	匠の家づくり支援事業		
担当課	農務部 林務課		内 線	項	1	総務管理費	基本 施 策	1	林業の振興と森林の持つ多面的な機能を維持する	H25実施計画額	24,000 千円			
	目	18	環境政策費	施策	1	持続的な生産基盤の整備								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	どうしたい のか (意図)	・地域材を使用した住宅建築を促進し、地域材の利用拡大を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の主な構造材における地域材の使用量に応じ、1㎡あたり20,000円補助する。 H24から、地産外消タイプ(地域材使用量に対し家具等木製品を贈呈する制度)を追加。 産直住宅建設促進事業者の活動に対し補助する。 県産直住宅組合への負担金。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	匠の家づくり支援事業補助金 63件 20,214千円 産直住宅建設促進事業補助金 2件 420千円							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指 標	建築棟数	棟	目標値	65	70	90	117
		実績値	73	63				
	算出根拠等		実績棟数による	達成率(%)	112	90		
	成果 指 標	地域材利用率	%	目標値	100	100	100	100
		実績値	121	101				
	算出根拠等		実績棟数/目標棟数	達成率(%)	121	101		
	成果 指 標	産直住宅建設促進事業補助金	棟	目標値	6	6	2	2
		実績値	2	1				
	算出根拠等		実績棟数による	達成率(%)	33	17		
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
算出根拠等			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 補助対象の木材として、現在は県産材を含む地域材を対象としているが、市産材使用の流れが構築されつつあるため、今後、補助対象を市産材に絞ることを検討。 申請件数が増加しており、担当職員の負担が大きいため、事務の効率化に引き続き取り組む必要がある。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・H24から、地産外消タイプ(市産材使用量に応じて家具等木製品を贈呈する制度)を追加し、市産材の一層の利用拡大を図っている。	
次 年 度 の 実 施 方 針	維持・改善	
	○ 拡大	・現在は居住用住宅を対象としているが、店舗、事務所、別荘などの木造建築物についても補助対象とすることを検討。
	縮小	・効果的なPRを図るために、木の家を証明するプレートなどの設置について検討を進める。
	廃止検討	
○ 維持・改善	・補助対象が地域産材のものについて、市産材に見直す検討が必要である。	
拡大	・補助制度の実施により、市産材の利用拡大がどれくらい行われているかを検証するとともに、更なる需要拡大を図るために、市産材の品質や制度の効果的なPRについて検討する必要がある。	
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	24,212	20,834	24,690	33,340
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	258	223	266	359
	受益者	市民	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域産材を使用した木造住宅建築に対する助成 産直住宅建設促進事業者の活動に対する助成 県産直住宅組合への負担金 	要求の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 地域材(県産材)から市産材へのシフト 助成対象の拡大 効率的なPRを促進 	事業 実 施 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> 増大する事務の効率的処理。
------	---	-------------	--	-----------------------------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	24,690	33,340	8,650	35,590	35,590	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 匠の家づくり支援事業の助成対象を拡大し市産材の活用を推進 	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	420	320	△ 100	320	320		
一般財源	24,270	33,020	8,750	35,270	35,270		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	53100	林道維持管理費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ◎林業から新たな森林産業への転換を進めます。 ・特用林産の振興、森林技術者の確保・育成など総合的な林業振興策に積極的に取り組みます。
	課			5	農林水産業費		分野	3	林業		実施計画事業		
担当課	農政部 林務課		予算	内線	2235	基本施策	1	林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する	H25実施計画額		千円		
	目	1		林業総務費	施策		3	林業関連施設の整備					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	森林所有者(市内全域)	どうしたいのか(意図)	・林道の計画的な維持・修繕を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・管理主体である高山市が実施する。
	対象者数	4,898 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・林道修繕 44件 21,716千円		・林道維持管理委託 7件 1,668千円				
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	林道維持管理	箇所	目標値	60	60	60	60
			実績値	47	51		
成果指標	間伐材利用に係る集運材量	m ³	目標値	11,400	10,000	12,000	12,000
			実績値	13,078	13,450		
算出根拠等	実施箇所		達成率(%)	78	85		
			算出根拠等	搬出量	達成率(%)	115	135
算出根拠等			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績値				
			達成率(%)				
算出根拠等			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績値				
			達成率(%)				
補足			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・林道の適正な管理のため、修繕を継続して行う。
-----------------	-------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・林道調査や町内要望等により必要な修繕を実施する。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・林道の適正な管理のため、継続して修繕を行う。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	21,270	23,384	27,750	53,810
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,616	5,075	5,666	10,986
	森林所有者(市内全域)	(B)	4,608	4,608	4,898	4,898

5 予算編成(Action2)

事業内容	林道の維持管理 ・林道施設修繕 ・林道草刈業務	要求のポイント	事業実施の課題	・林道の適正な維持管理に必要な測量・設計等の知識・技術を有する人材が不足している。
------	-------------------------------	---------	---------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	27,750	53,810	26,060	27,750	27,750	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						
	一般財源	27,750	53,810	26,060	27,750		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	53110	林業関係事務費	内線	2236	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策		根拠計画	市長公約
種別						款	5	農林水産業費		分野			
担当課	農政部 林務課					項	3	林業費		基本施策		H25実施計画額	千円
						目	1	林業総務費		施策			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民、市内森林所有者及び林業関係団体	どうしたいのか(意図)	・林業関係事業を推進するための事務費	概要	事業の実手法(手段)	・林業関係事業を円滑に推進するうえでの事務経費 職員の旅費、事務及び現場用消耗品 公用車の燃料、リース料 市が参画している林業関係団体の負担金
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・林業関係事務費の支出 旅費及び需用費(消耗品、自動車燃料) 庁用車リース料 各種林業関係団体の負担金						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	高山市森づくり委員会の開催	回	目標値	5	5	5	5
成果指標	算出根拠等	開催実績	実績値	4	4		
	達成率(%)			80	80		
成果指標	指標名	単位	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000
	民有林内の間伐実施面積	ha	実績値	1,471	1,596		
算出根拠等	施業実績	達成率(%)		74	80		
成果面	算出根拠等		目標値				
	実績値						
算出根拠等		達成率(%)					
補足	算出根拠等		目標値				
	実績値						
算出根拠等		達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・林業関係団体への負担金の見直し
-----------------	------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・事務の効率化を図り、コスト削減に努めている。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・引き続き事務の効率化の推進と、林業関係団体への負担金額見直しを提言する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・負担金支出先の団体の事業について効果を検証する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,006	2,552	2,785	2,888
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	32	27	30	31
受益者	市民、市内森林所有者及び林業関係団体	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	林業関係事務経費 ・各種林業関係団体の負担金	要求のポイント	事業実施の課題	・林業関係団体への負担金の見直し
------	---------------------------	---------	---------	------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,785	2,888	103	2,648	2,648	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金	641	641		222	222		
その他							
一般財源	2,144	2,247	103	2,426	2,426		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	53201	市有林管理費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ③ ④林業から新たな森林産業への転換を進めます。 ・特用林産の振興、森林技術者の確保・育成など総合的な林業振興策に積極的に取り組みます。 ・林業と建設業の協同事業実施を支援します。
	課			5	農林水産業費		分野	3	林業	実施計画事業	公有林整備事業		
担当課	農政部 林務課		予算	内線	2235	基本施策	1	林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する	H25実施計画額		千円		
	目	2		林業振興費	施策		1	持続可能な生産基盤の整備					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市、市民	どうしたいのか(意図)	・市の基本財産の造成、地域林業の振興、国土の保全等を図ることを目的に、計画的な管理・経営を推進する。	概要	事業の実手法(手段)	・市有林を適正に管理するため、森林施策計画に基づき、間伐や枝打ち等の施策を計画的に実施する。 ・市有林を活用し、建設業者等の利用間伐に対する森林施策技術のレベルアップを図る。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		・市有林管理事業 153,495千円 ・利用間伐・作業道開設等 23件					
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	市有林間伐等事業実施面積	ha	目標値	200	200	50	13
成果指標	算出根拠等	事業実施面積	実績値	189	187		
	達成率(%)		95	94			
活動指標	指標名	単位	目標値	2,353	2,353	2,353	2,353
	市有林作業道開設延長	m	実績値	1,050	1,237		
成果指標	算出根拠等	人工林面積	達成率(%)	45	53		
	市有林利用間伐面積	ha	目標値		30	30	10
活動指標	算出根拠等	事業実施面積	実績値		22		
	達成率(%)		73				
活動指標	指標名	単位	目標値		1,000	1,000	1,000
	市有林作業道開設延長	m	実績値		5,136		
成果指標	算出根拠等	事業実施延長	達成率(%)		514		
	目標値						
成果指標	算出根拠等		実績値				
	達成率(%)						
補足	・建設業者等の林業参入に必要な知識・技術が向上している。						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・25年度から始まる新たな国の制度に対応し、森林の持つ公益的機能の維持・発揮を図るため、市有林を核とし周辺森林を一体とした管理手法を検討・実施する必要がある。 ・また、市有林の事業を通して、伐採等の施策技術者は育ちつつあるが、必要な施策のプランニング、進捗管理等のできる人材が不足している。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・新たな制度に対応するため、市有林及び周辺森林を一体とした管理手法を検討する。 ・市有林を事業体等に経営信託する方式等の導入について検討するための調査を実施する。 ・森林の適正な管理に必要な人材を、市有林の事業を通して引き続き育成する。	
次年度の実施方針	○維持・改善	・市有林の適正な管理方法について検討するため、モデル的な取り組みとして、施策提案方式等により市有林における森林整備事業体を決定し、市有林内での森林整備業務を委託する。業務に必要な費用は事業体により確保(国補助金や支障木の売却)することとし、業務遂行により発生する関係者との連絡調整、財源確保、プランニング、進捗管理等を通して、適正な森林管理に必要な人材を育成する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	専門的な知識を有する事業者等に経営信託することも視野に入れながら、市有林の適正な管理方法について検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	37,505	153,495	80,680	40,022
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	400	1,645	869	431
	受益者	市、市民	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	・市有林管理業務委託 ・市有林整備工事 ・GPSシステム導入	要求のポイント	国・県補助の縮小に伴う市有林整備工事の減	事業実施の課題	・25年度から始まる新たな国の制度に対応し、森林の持つ公益的機能の維持・発揮を図るため、市有林を核とし周辺森林を一体とした管理手法を検討・実施する必要がある。 ・市有林に必要な管理・利用等のプランニング、進捗管理等のできる人材が不足している。
------	--------------------------------------	---------	----------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		80,680	40,022	△ 40,658	38,550	38,550	・実施箇所は要求どおりとし、積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金	60,722	28,538	△ 32,184	27,663	27,663		
	その他	14,560	3,900	△ 10,660	3,900	3,900		
	一般財源	5,398	7,584	2,186	6,987	6,987		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	53209	緑資源幹線林道賦課金元利補給金	内線	2234	予 算	会計	1	一般会計	総合 計画	政策	4	にぎわいのあるまちをめざして	根拠計画	市 長 公 約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ◎林業から新たな森林産業への転換を進めます。 ・特用林産物の振興、森林技術者の確保・育成など、総合的な林業振興策に積極的に取り組みます。
	款					5	農林水産業費	分野		3	林業	実施計画事業			
担当課	農政部 林務課					目	3	林業費		基本施策	1	林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する	H25実施計画額	千円	
	項	2	林業振興費	施策		3	林業関連施設の整備								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	森林所有者(宮・高山、瓜田・中呂瀬、双六・瀬戸区間)	どうしたいのか(意図)	旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金を支払う。	概要	事業の実施手法(手段)	・高山市の受益者負担金の支出をする。 ・受益者組合への補助金を交付する。
	対象者数	641 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	高山市受益者負担金 3,838千円 受益者組合への補助金18,103千円						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	緑資源幹線林道賦課金元利補給金	千円	目標値	23,270	21,941	20,459	19,450
成果指標	算出根拠等	決算額/予算額	実績値	23,270	21,941		
	達成率(%)		100	100			
成果指標	緑資源幹線林道賦課金 償還額	千円	目標値	688,014	688,014	688,014	688,014
	算出根拠等	償還済額/償還総額	実績値	558,846	580,787		
成果指標	達成率(%)		81	84			
	算出根拠等						
成果指標	算出根拠等		目標値				
	達成率(%)		実績値				
成果指標	算出根拠等		目標値				
	達成率(%)		実績値				
成果指標	算出根拠等		目標値				
	達成率(%)		実績値				
補足	算出根拠等		目標値				
	達成率(%)		実績値				
旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金を毎年計画的に返済するもの。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	林業者だけでなく広く一般の方々にも大規模林道を活用していただけるよう維持管理の向上に努める必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	引き続き、旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金の支払いを実施する。	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	引き続き、旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金の支払いを実施する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	担当者評価に同じ

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	23,270	21,941	20,459	19,450
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	36,303	34,229	31,917	30,343
	受益者	森林所有者(宮・高山、瓜田・中呂瀬、双六・瀬戸区間)	(B)	641	641	641

5 予算編成(Action2)

事業内容	旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金の支払い及び受益者組合に対する助成	要求の ポイント	事業 実施 の 課題
			賦課金の支払い期限までに遅滞なく支払いを行う

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	20,459	19,450	△ 1,009	19,450	19,450	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	20,459	19,450	△ 1,009	19,450	19,450		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	53218	緑の保全事業補助金	予 算	会計	1	一般会計	総 計 画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市森林整備計画	市 長 公 約	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市を創ります 8 ◎環境保全に取り組みます。・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活用など、環境保全は今を生きている全ての人々が取り組まなければならない重要な問題であるため、バイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境改善につながる取り組みを支援します。
種別				款	5	農林水産費		分野	3	林業	実施計画事業	民有林整備事業		
担当課	農政部 林務課		内線	項	3	林業費	基本施策	1	林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する。		H25実施計画額	55,000 千円		
			2235	目	2	林業振興費	施策	1	持続可能な生産基盤の整備					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	森林所有者・森林組合・林業事業者等	どうしたいのか(意図)	・必要な森林施策を適切に実施することにより、森林を健全な状態に保ち、水源かん養機能の向上や災害に強い森林づくりを促進する。	概要	事業の実手法(手段)	・間伐などの国・県で行っている造林補助事業に市で嵩上げ補助を実施する。 ・国、県で補助対象とならない規模の小さい森林施策に対して市単独の補助を実施する。 ・間伐材の搬出利用を促進するため、市場等までの運搬費に補助を実施する。
	対象者数	4,482 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・間伐事業補助(搬出間伐、伐捨間伐) A=366.21ha ・間伐作業道開設事業補助 L=17,068m ・未利用資源活用促進事業 V=5,166㎡ ・間伐材利用促進事業 V=13,452㎡ ・小規模森林整備事業 14件 A=3.9ha						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	間伐・除伐・枝打ち等(ha)	ha	目標値	975	782	500	497
活動指標	作業道開設(m)	m	実績値	466	399		
	算出根拠等	実績	達成率(%)	48	51		
成果指標	間伐材利用促進事業 集運材積量(未利用資源活用促進事業含む)	㎡	目標値	11,900	24,667	34,300	12,900
	算出根拠等	実績	実績値	7,787	17,728		
成果指標	民有林内の間伐実施面積	ha	目標値	65	72		
	算出根拠等	実績	達成率(%)	115	186		
補足	飛騨農林事務所間伐実績集計		目標値	2,000	2,000	2,000	2,000
	算出根拠等		実績値	1,471	1,596		
			達成率(%)	74	80		
			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・国、県の造林補助事業の対象者には、森林経営計画の策定が前提となる。大規模な林班単位の計画となり、小規模林業事業者や小規模森林所有者の経営意欲の喚起を図る独自の補助制度が課題であり、従来の補助制度を活かし、より効果的な補助制度を検討し、森林整備を促進する。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・間伐促進事業の普及拡大を図り、小規模事業者等の経営意欲の喚起を促す。
担当課評価	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
二次評価	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
次年度の実施方針	・間伐促進事業及び小規模森林所有者等への補助を継続することで、林業の担い手の確保や適正な森林施策の推進、経営意欲の喚起など積極的な支援を進める。 ・小規模森林所有者等が、国・県の造林補助事業を実施できるよう、共同での森林経営計画策定の促進について検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	39,024	59,881	55,000	67,356	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	7,967	12,226	12,271	15,028	
	受益者	森林所有者・森林組合・林業事業者等	(B)	4,898	4,898	4,482	4,482

5 予算編成(Action2)

事業内容	○間伐事業、間伐作業道開設事業 森林環境保全直接支援事業(国・県造林補助事業)に嵩上補助を行う ○間伐材利用促進事業、未利用資源活用促進事業 間伐材の集運に対する助成 間伐後の林地残材を、バイオマスエネルギー等として利用 ○間伐促進事業、小規模森林整備事業 県造林補助制度に対応できない個人及び林業事業者等が行う5ha未満の間伐作業を行う場合や、0.5ha未満の小規模な森林整備に対する助成	要求のポイント	○平成23年改正の高山市森林整備計画は、次の重点項目を設け森林整備をすすめている。 「安全な暮らしを守る森林づくり」 ・災害に強い森林づくり 「木を生かした地域産業づくり」 ・効率的な木材生産や地域材の利用拡大、間伐材の利用拡大 ・年間2,000haの間伐事業 ◎利用間伐に係る造林補助を積極的に進め、災害に強い森林づくり、地域材及び間伐材利用を進める。	事業実施の課題	平成25年度より森林経営計画策定団地が、森林環境保全直接支援事業(国・県造林補助事業)の対象者になる。 森林経営計画は、効率的な森林経営を進め、森林施策の団地化や境界明確化を促進するものである。 このため高山市は、積極的に地域説明会等に参加し集約化・団地化を進める。 また、個人等小規模森林所有者に対しては、間伐促進事業、小規模森林整備事業を普及し、林業経営意欲を喚起する。
------	---	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	55,000	67,356	12,356	55,000	55,000	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	450		△450				
県支出金							
その他	4,439	4,383	△56	4,383	4,383		
一般財源	50,111	62,973	12,862	50,617	50,617		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	53220	森林被害対策事業費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	にぎわいのあるまちをめざして	根拠計画	市長公約	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります。 ◎環境保全に取り組みます。 ・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活動など、環境保全は今を生きるすべての人々が取り組まなければならない重要な問題であるため、バイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境保全につながる取り組みを支援します。
	課			5	農林水産業費		分野	3	林業			
担当課	農政部 林務課		予算	内線	2236	基本施策	1	林業の振興と森林の持つ多面的な機能を維持する	H25実施計画額	実施計画事業	森林病虫害対策事業	千円
	目	2		林業振興費	施策		4	森林の保全				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民、森林所有者	どうしたいのか(意図)	・カンノナガキクイムシによるナラ枯れ被害の予防・駆除を実施する。	概要	事業の実施手法(手段)	・予防事業・・・新たなナラ枯れの拡大を防ぐため、薬剤注入及び粘着剤塗布の予防措置を実施する。 ・駆除事業・・・カンノナガキクイムシの被害木を薬剤蒸蒸し処理する。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	予防事業については荘川地域で、91本薬剤塗布を実施した。駆除事業については荘川・国府・上宝地区で110本、伐倒蒸蒸し処理をした。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	予防処理本数	本	目標値	100	90	100	160
				実績値	100	91		
	算出根拠等 実績			達成率(%)	100	101		
	成果指標	駆除処理本数	本	目標値	207	207	200	150
				実績値	207	110		
	算出根拠等 実績			達成率(%)	100	53		
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	国・県の所有の森林については、十分な病虫害の予防・駆除が実施されていない。また、補助金の対象項目のなかに、調査費用が入っていない。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	国・県の所有の森林についても、十分な病虫害の予防・駆除の実施を要望する。また、補助金の対象項目に調査費用を入れるように要望する。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	継続的に事業の実施を行うことは勿論のこと、被害状況の調査を徹底し、予防・駆除事業を行う
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・市外からの被害拡大の防止を図るため、県や近隣市村と連携した対策についても検討する必要がある。 ・市の財政負担の軽減を図るため、県の森林環境税や国・県の他の補助制度などの予算措置及び制度拡充について、国・県に働きかけを行っていく必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	4,372	2,580	4,000	5,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	47	28	43	59
	受益者	市民、森林所有者	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	・予防事業・・・新たなナラ枯れの拡大を防ぐため、薬剤注入及び粘着剤塗布の予防措置を実施する。 ・駆除事業・・・カンノナガキクイムシの被害木を薬剤蒸蒸し処理する。 ・市内一円の森林病虫害被害調査を実施し、被害箇所や駆除木を特定する。	要求のポイント	・カンノナガキクイムシを対象を絞った対策 ・荘川・国府・上宝を中心とした予防・駆除事業の実施	事業実施の課題	国・県の所有森林については、十分な病虫害の予防・駆除が実施されていない。 近隣の市村においても対応にばらつきがあり、広域的な取り組みが必要。
------	---	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		4,000	5,500	1,500	4,000	4,000	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金	3,224	4,360	1,136	3,250	3,250		
	その他							
	一般財源	776	1,140	364	750	750		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	53221	林業改良普及事業補助金	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ◎林業から新たな森林産業への転換を進めます。・特用林産物の振興、森林技術者の確保・育成など総合的な林業振興策に積極的に取り組みます。
	課			5	農林水産業費		分野	3	林業	実施計画事業	林業改良普及事業		
担当課	農政部 林務課		予算	内線	2236	総合計画	基本施策	1	林業の振興と森林の持つ多面的な機能を維持する	H25実施計画額		千円	
	目	2		林業振興費	施策		2	あらたな担い手の確保					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	林業グループ員・行事参加者	どうしたいのか(意図)	・林業グループの自主的な調査・研究活動等を促進し、新たな林業技術の習得や後継者の育成を図る。	概要	事業の実手法(手段)	・林業グループの自主的な調査・研究活動等に要する経費に対して補助する。
	対象者数	150 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	各地域で活動する林業グループ7団体中5団体が、年間を通して8事業を行い、林業グループ員・一般参加合わせて157名の参加となった。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	活動実施回数	回	目標値	10	10	10	11
		実績値	8	8				
	算出根拠等	実績		達成率(%)	80	80		
	成果指標	活動参加者人数	人	目標値	150	150	150	150
		実績値	149	157				
	算出根拠等	実績		達成率(%)	99	106		
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	現在、市内各地で7団体が活動しているが、全地域10団体での活動が望ましい。団体活動が出来ない地域の人は、隣接の団体に属して活動するなどして、技術の向上を図る取り組みも必要である。また、活動自体は地域色を出しながらも、どのように後継者育成につなげていくかが課題である。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	毎年行われる各団体毎の技術講習やイベントなどに、地域外からの参加希望の呼びかけ等を行い、後継者の育成に繋げていく。	
次年度の実施方針	○維持・改善	各団体が活動を通して一般の人に林業に興味を持ってもらう為に、常に新しい事への取り組みを念頭に入れ活動するよう指導していく。また、数組の林業グループ合同のイベント・講習や、団体のない地域の人達を含めた情報交換の場を持つなどの活動を行い後継者育成に繋げていくよう指導をしていく。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	・グループの統合などによる合理化や組織強化について検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	500	500	700	700
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3,356	3,185	4,667	4,667
	受益者	林業グループ員、一般参加者	(B)	149	157	150

5 予算編成(Action2)

事業内容	・林業グループの自主的な調査・研究活動等を促進し、新たな林業技術の習得や後継者の育成を図る。	要求のポイント	事業実施の課題	・各グループ間や地域間の情報交換が無いため、技術や伝統の伝播が行われにくい ・各グループの活動のPRが不足しているため、新規就労等の担い手育成に繋がりにくい
------	--	---------	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		700	700		700	700	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金	350	350		350	350		
	その他							
一般財源		350	350		350	350		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	53242	林道開設事業費	予 算	会計	1	一般会計	総合 計画	政策	4	にぎわいのあるまちをめざして	根拠計画		市長 公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ◎林業から新たな森林産業への転換を進めます 特用林産物の振興、森林技術者の確保・育成など、総合的な林業振興策に積極的に取り組みます。
種別				款	5	農林水産業費		分野	3	林業	実施計画事業	大規模林道整備事業		
担当課		農政部 林務課	内線	2236	目	3	林業費	基本施策	1	林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する	H25実施計画額		千円	
				目	2	林業振興費		施策	3	林業関連施設の整備				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	森林所有者(宮・高山区間)	どうしたいのか(意図)	林道(宮・高山線)を早期に完成させる。	概要	事業の実施手法(手段)	開設工事を県が代行事業(実施主体は岐阜県)として実施し、そのための負担金を支払う。(高山市の負担割合は、事業費の5%) 総開設延長 11,150m
	対象者数	254 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	平成23年度より事業開始。山のみづくり交付金林道事業負担金の支払いをおこなった。 市負担金 2,977千円 平成23年度開設延長 L=129m						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	林道開設事業(H23年度より開設事業開始)	m	目標値		200	200	200
成果指標	算出根拠等	実施延長	実績値		129		
	算出根拠等	達成率(%)			65		
成果指標	開設延長	m	目標値	11,150	11,150	11,150	11,150
	算出根拠等	開設延長	実績値	9,160	9,289		
成果指標	算出根拠等	達成率(%)		82	83		
	算出根拠等	達成率(%)					
成果指標	算出根拠等	達成率(%)					
	算出根拠等	達成率(%)					
補足	算出根拠等	達成率(%)					
	算出根拠等	達成率(%)					
補足	県の公共林道事業であり県の予算及び猛禽類の生息(オオタカ等の営巣状況)により実施延長は、変化する。						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	県の予算に左右される部分が大い。
-----------------	------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	引き続き、県の代行事業として実施する。
次年度の実施方針	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 (担当課評価と同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	2,977	4,500	9,340
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	0	11,720	17,717	36,772
	受益者	森林所有者(宮・高山区間)	(B)	254	254	254

5 予算編成(Action2)

事業内容	旧緑資源幹線林道(大規模林道)の開設工事に伴う負担金を計上(事業主体は岐阜県)高山市の負担割合は、事業費の5%。	要求のポイント	支障木伐採費	事業実施の課題	県の動向により、事業量が変化する。
------	--	---------	--------	---------	-------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	4,500	9,340	4,840	7,500	7,500	・実施箇所は要求どおりとし、積算内容を精査 ・財務部査定のとおり	
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
一般財源	4,500	9,340	4,840	7,500	7,500		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	53255	林道改良事業費	予 算	会計	1	一般会計	総合 計画	政策	4	にぎわいのあるまちをめざして	視視計画	市 長 公 約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ◎林業から新たな森林産業への転換を進めます ・特用林産物の振興、森林技術者の確保・育成など、総合的な林業振興策に積極的に取り組みます。
	種別			款	5	農林水産業費		分野	3	林業	実施計画事業		
担当課	農政部 林務課		内線	目	3	林業費	基本 施策	1	林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する		H25実施計画額	千 円	
			2236	目	2	林業振興費		3	林業関連施設の整備				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	森林所有者(駄吉線受益地域)	どうしたい のか (意図)	森林基幹道(駄吉線)舗装工事を実施する。	概要	事業の実施 手法(手段)	林道公共事業(国・県補助)を活用し、市が工事を施工する。
	対象者数	145 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	法面工事のみを実施し、H23年度法面工事は完了 法面 L= 166m						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	林道改良事業(舗装)	m	目標値	320	0	650	1,050
成果 指標	算出根拠等		実績値	435	0		
	実施延長		達成率(%)	136			
成果 指標	林道舗装延長	m	目標値	17,821	17,821	17,821	18,871
	算出根拠等		実績値	18,056	18,056		
成果 指標	舗装済延長		達成率(%)	101	101		
	算出根拠等		目標値				
成果 指標			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
成果 指標			目標値				
	算出根拠等		実績値				
成果 指標			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
補 足			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	地域の森林所有者だけでなく、広く市民が活用しやすい安全面等の利便性の向上を図る。 また、より一層のコストの削減が必要である。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	今後とも、舗装工事により利用者の利便性を向上するとともに、低コストな事業実施に努めて、維持管理費用の減少に努める。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	引き続き事業の進捗を図る。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	19,017	18,682	20,000	31,412
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	131,152	128,841	137,931	216,634
	受益者	森林所有者(駄吉線受益地域)	(B)	145	145	145

5 予算編成(Action2)

事業内容	公共林道事業	要求の ポイント	朝日町地内の林道駄吉線の舗装工事 上宝町地内の林道小萱～蔵柱線の舗装工事	事業 実 施 の 課 題	林道修繕等を要する路線の箇所付け及び事業費の低コスト化
------	--------	-------------	---	-----------------------------	-----------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		20,160	31,412	11,252	30,160	30,160	・林道駄吉線は、規模拡大し前倒しで実施する ・林道小萱～蔵柱線は、県の事業化が見込めないため見送り	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金							
	県支出金	13,333	18,880	5,547	20,000	20,000		
	その他							
	一般財源	6,827	12,532	5,705	10,160	10,160		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	53256	生活環境保全林管理事業費	予 算	会計	1	一般会計	総合 計画	政策	4	にぎわいのあるまちをめざして	根拠計画	市 長 公 約	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります。 ◎環境保全に取り組みます。 ・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活動など、環境保全は今を生き ているすべての人々が取り組まなければならない重要な問題であるため、ハイ オマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境保全につながる取 組みを支援します。
	種別			款	5	農林水産業費		分野	3	林業	実施計画事業		
担当課	農政部 林務課		内 線 2236	項	3	林業費	基本 計画	基本施策	1	林業の振興と森林の持つ多面的な機能を維持する	H25実施計画額	千 円	
	目	2		林業振興費	施策	4		森林の保全					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	どうしたい のか (意図)	・生活環境保全林を適切に維持管理する。 ・利用者数を増加させるとともに、市民による多様な活用を促進する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・施設の適正な維持管理を図る。 ・広報等により利用促進に向けた普及啓発を実施する。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		生活環境保全林管理事業 5,318千円						
成果 面	活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
					目標値	1	1	1
	算出根拠等	実績	実績値	1	1			
			達成率(%)	100	100			
	成果 指標	利用者数	人	目標値	155,000	160,000	160,000	160,000
				実績値	152,934	109,361		
	算出根拠等	実績	達成率(%)	99	68			
			目標値					
	算出根拠等	実績	実績値					
			達成率(%)					
	算出根拠等	実績	目標値					
			実績値					
	算出根拠等	実績	達成率(%)					
			目標値					
	算出根拠等	実績	実績値					
			達成率(%)					
算出根拠等	実績	目標値						
		実績値						
算出根拠等	実績	達成率(%)						
		目標値						
算出根拠等	実績	実績値						
		達成率(%)						
補足	H23は観光施設等はいずれも入り込みが減少しており、生環林も同様な状況であった。H24は広報によるPRのほか、地域団体等と協働し、入り込み増を図る。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・引き続き、適正な維持管理を実施する。 ・利用者増に向けた普及啓発を強化する。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・広報によるPRのほか、地域団体等と協働し、入り込み増を図る。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	・広報によるPRのほか、地域団体等と協働し、入り込み増を図る。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評価	○維持・改善	・環境教育の場としての活用促進を図るなど、施設の有効活用策について検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	13,794	14,492	10,612	23,641
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	147	155	114	255
	受益者	市民	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	・市内にある生活環境保全林施設の適正な維持管理を図り、利用を促進する。	要求の ポイント	・施設の適正な維持管理 ・広報等により利用促進に向けた普及啓発を実施	事業 実施 の 課題	・老朽化する施設の修繕。 ・市民への効率的な広報の実施。
------	-------------------------------------	-------------	---------------------------------------	---------------------	---------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		4,107	23,641	19,534	9,107	9,107	・施設整備は優先順位の高い箇所を実施	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金							
	県支出金	200	11,666	11,466	5,000	5,000		
	その他							
一般財源		3,907	11,975	8,068	4,107	4,107		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	53280	林業振興関係事務費	予 算	会計	1	一般会計	総 合 計 画	政策		根拠計画	市 長 公 約	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ◎林業から新たな森林産業への転換を進めます。 ・特用林産の振興、森林技術者の確保・育成など総合的な林業振興策に積極的に取り組みます。
	課			5	農林水産業費	分野			実施計画事業			
担当課	農政部 林務課	内 線	目	3	林業費	基本施策		H25実施計画額	千円			
			目	2	林業振興費		施策					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民、市内森林所有者及び林業関係団体	どうしたい のか (意図)	・林業振興に関する事務経費および各種団体負担金を交付する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・林業振興に関する事務経費及び美しい森林づくり実行委員会へ負担金を交付する。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・林業振興関係事務費の支出 旅費及び需用費(消耗品、自動車燃料、自動車修繕) 庁用車リース料 実行委員会の負担金								
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25	
	活動 指 標	高山市美しい森林づくりの開催		回	目標値	2	2	2	2
					実績値	2	2		
		算出根拠等	開催実績	達成率(%)	100	100			
	成果 指 標	高山市美しい森林づくりへの参加人数		人	目標値	200	200	200	200
					実績値	275	210		
		算出根拠等	参加実績	達成率(%)	138	105			
	成果 指 標	民有林内の間伐実施面積		ha	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000
					実績値	1,471	1,596		
		算出根拠等	施業実績	達成率(%)	74	80			
				目標値					
				実績値					
				達成率(%)					
				目標値					
			実績値						
			達成率(%)						
補足									

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・出席する会議等の精査、需用費の縮減
---------------------	--------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・事務の効率化を図り、コスト縮減に努めている。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○維持・改善	・引き続き事務の効率化を推進する。
	拡大	
	縮小	
	○維持・改善	・負担金支出先の団体の事業について効果を検証する必要がある。
拡大		
縮小		
	廃止検討	

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	880	742	740	3,071
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	9	8	8	33
	受益者	市民、市内森林所有者及び林業関係団体	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	林業振興関係事務経費	要求の ポイント	・林業振興に関する事業を推進するための経費を計上 ・木育推進に必要な経費を計上	事業 実 施 の 課 題	・出席する会議等の精査、需用費の縮減
------	------------	-------------	--	-----------------------------	--------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		740	3,071	2,331	2,740	2,740	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金							
	県支出金		1,000	1,000	1,000	1,000		
	その他							
	一般財源	740	2,071	1,331	1,740	1,740		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	53285	森林整備地域活動支援事業費	予 算	会計	1	一般会計	総合 計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長 公 約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ◎林業から新たな森林産業への転換を進めます 特用林産物の振興、森林技術者の確保・育成など、総合的な林業振興に積極的に取り組みます。
	款			5	農林水産業費	分野		3	林業	実施計画事業	森林整備地域活動支援補助金			
担当課	農政部 林務課		内線	項	3	林業費	基本 施策	1	林業の振興と森林の持つ多面的な機能を維持する		H25実施計画額		千円	
			2236	目	2	林業振興費		1	持続可能な生産基盤の整備					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市と協定を締結している森林所有者、全市民	どうしたいのか(意図)	森林整備の推進のため、森林所有者等による森林施業の実施に不可欠な森林の現況調査、境界の明確化、作業路等の整備を図る。	概要	事業の実手法(手段)	市長との協定に基づく森林整備のための地域活動(森林経営計画を作成することを前提に森林の現況調査、境界の明確化作業、林内作業路網の改良等)を実施したものに、その実行経費が基準上限額のどちらか低い方の額を交付する。(森林整備地域活動支援交付事業 国・県・市の予算で費用負担)
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	交付額総額 70,069千円 (国費42,399千円、県費13,959千円、市費13,711千円) 締結者数 10団体 積算基礎森林面積 20,028.60ha							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指 標	協定締結者数	団体	目標値	17	10	6	6
		実績値	17	10				
		算出根拠等	市と締結を結んだ個人又は団体の数		達成率(%)	100	100	
	成果 指 標	民有林内の間伐実施面積	ha	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000
		実績値	1,471	1,596				
		算出根拠等	森林整備計画 年間間伐実施面積指標より		達成率(%)	74	80	
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
		実績値						
算出根拠等		達成率(%)						
補足	森林法改正に伴う新制度により、交付基準が厳格化されるため協定数の減少が見込まれる。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	当事業の成果を森林経営計画の作成及び森林整備に結びつけていくことが必要。
-----------------	--------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	当事業の成果を森林経営計画の作成及び森林整備に結びつけていく。		
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	新制度の基準に従い、適切に事業を運営し、当事業の成果を森林経営計画の作成及び森林整備に結びつける。	
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討		(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	85,412	70,069	80,000	80,122
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	910	751	862	863
	受益者	市と協定を締結している森林所有者、全市民	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	森林整備地域活動に対する助成 ・森林の調査 ・境界の明確化 ・作業路網の改良活動	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	事業の成果を森林経営計画の作成及び森林整備に結びつけていくことが必要。
------	---	-------------	---------------------	-------------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		80,120	80,122	2	80,120	80,120	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金							
	県支出金	60,060	60,060	0	60,060	60,060		
	その他							
	一般財源	20,060	20,062	2	20,060	20,060		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	53300	分収造林整備事業費	予 算	会計	1	一般会計	総合計 画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ◎林業から新たな森林産業への転換を進めます。 特用林産の振興、森林技術者の確保・育成など総合的な林業振興策に積極的に取り組みます。
	種別			款	5	農林水産業費		分野	3	林業	実施計画事業	分収造林受託事業		
担当課		農政部 林務課	内線	項	3	林業費	基本施策	1	林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する		H25実施計画額		千円	
			2236	目	3	分収造林費	施策	1	持続可能な生産基盤の整備					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市、土地所有者、市民	どうしたいのか(意図)	公的造林資本の導入により、森林資源を計画的に造成し、地域林業の振興、国土の保全等を図る。	概要	事業の実手法(手段)	公的造林資本による分収造林契約森林において、森林施策計画に基づき、間伐や枝打ち等の施策を計画的に実施する。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	間伐面積 80ha						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	分収林間伐等施業実施面積	ha	目標値	95	100	65	21
成果指標	算出根拠等	年間施業面積	実績値	74	80		
			達成率(%)	78	80		
成果指標	分収林間伐等施業実施面積	ha	目標値	95	100	65	21
	算出根拠等	年間施業面積	実績値	74	80		
成果指標			達成率(%)	78	80		
	算出根拠等		目標値				
成果指標			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	旧森林開発公団以外の分収造林地については、25年度から始まる新たな国の制度に対応し、森林の持つ公益的機能の維持・発揮を図るため、分収林及び周辺森林を一体とした管理手法を検討・実施する必要がある。 旧森林開発公団分収造林地については、市管理業務の軽減を図るため、管理手法について検討する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	旧森林開発公団以外の分収造林について、新たな制度に対応するための管理手法を検討する。 旧森林開発公団分収造林地の管理手法について検討するための調査を実施する。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・国等の補助制度を有効活用し、必要な施策を継続的に実施する。 ・旧森林開発公団分収造林地の管理業務委託等について検討する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・旧森林開発公団との分収林契約の見直しにあたっては、他市の先進事例を参考にしながら慎重に検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	17,994	16,196	11,000	10,832	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	192	174	118	117	
	受益者	市、土地所有者、市民	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	公的造林資本の導入により、森林資源を計画的に造成し、地域林業の振興、国土の保全等を図る。 ・分収造林契約事業地における森林整備工事	要求のポイント	・森林総合研究所分収造林	事業実施の課題	計画的な施業の実施及び周辺森林と一体となった管理
------	--	---------	--------------	---------	--------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		11,070	10,832	△ 238	11,076	11,076	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他	11,000	10,756	△ 244	11,000	11,000		
	一般財源	70	76	6	76	76		